

(この示談書は、一般的な不貞行為を想定しております。個別の事情がある場合には、個別に訂正してご利用ください。)

※示談書のサンプルを利用したことで問題が発生した場合であっても、当社では一切責任を負いません。ご理解の上でご利用ください。

示談書

_____ (以下「甲」と記載) と _____ (以下「乙」と記載) は、次のとおり合意した。

記

第1条 (不貞行為)

乙は、甲に対し、_____年_____月から_____年_____月までの間、甲の配偶者である _____ (あなたの配偶者の氏名) との間に不貞関係にあったことを認めるとともに、これについて深く謝罪する。

第2条 (慰謝料)

1. 乙は、甲に対し、本件不貞行為に関する慰謝料として、金 _____ 万円の支払義務があることを認め、これを本示談書締結日から _____ 日以内に、甲が指定する下記口座に振込む方法により支払う。また、振込手数料は乙の負担とする。

慰謝料の振込口座

銀行名	
支店名	
口座種別	
口座番号	
口座名義	

2. 乙は、甲の配偶者である _____ に対する、本件不貞行為に関する慰謝料支払い債務に基づく求償権を放棄する。

3. 乙が、前項に違反し、 _____ に対して求償権を行使したときは、乙が _____ に対して請求した金額と同額を、甲に対して直ちに支払うものとする。

第3条 (接触禁止)

乙は、甲に対し、正当な理由なく、今後、メール、SNS、面会など手段の如何を問わず、甲の配偶者である_____と一切接触しないことを約束する。

第4条（口外の禁止）

甲及び乙は、本示談書の有無及び内容について、理由の如何に問わず、第三者に対して一切口外しないことを約束する。

第5条（迷惑行為の禁止）

乙は、甲に対し、甲の居宅を訪問すること、甲の名誉を害すること、その他甲に不利益となる一切の行為を行わないことを約束する。

第6条（違約金）

乙は、甲に対して、乙が前2条の約束に違反した場合は、違約金として1回あたり各金_____万円を甲に支払うものとする。

ただし、甲夫婦が離婚に至るなど夫婦関係が悪化した場合や甲が会社を退職することを余儀なくされるなど、金_____万円を超えて損害が生じている場合には、損害額に応じた賠償義務を負う。

第7条（清算条項）

甲及び乙は、甲と乙の間に、本示談書の定めるもののほかに、本件に関し、なんらの債権債務も存在していないことを相互に確認する。

上記のとおり示談したことを証として、本示談書を2通作成し、甲及び乙による署名捺印のうえ相互に1通を保有するものとする。

令和____年____月____日

（甲）

住所_____

氏名_____

⑩

（乙）

住所_____

氏名_____

⑩